

平成29年度群馬県教育委員会の点検・評価委員会結果概要

1 期 日

第1回 平成29年6月23日（金）13:30～15:30

第2回 平成29年7月14日（金）13:30～15:30

2 場 所

県庁24階 教育委員会会議室

3 出席者数

群馬県教育委員会の点検・評価委員会委員5名、群馬県教育委員会事務局17名

4 審議事項

- (1) 平成29年度 教育委員会の点検・評価（平成28年度対象）の進め方
- (2) 平成29年度 教育委員会の点検・評価に係る各所属の自己評価に対する意見について

5 委員の主な意見

別紙『平成29年度点検・評価委員会（第1回、第2回）における主な意見と対応について』のとおり

6 結論

委員の意見に基づき、自己点検・評価案を修正し、教育委員協議会での協議、教育委員会会議での決定を経て、県議会へ提出・公表した。

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策1		
委員名	意見要旨	対応
1	荻原委員 特支高等部の専門アドバイザーが普通高校を巡回しての支援が進んでいる。	【評価できる点】として掲載
2	荻原委員 特別支援学校と高等学校の教員が交流している。	【評価できる点】として掲載
3	江森委員 生徒数が減少する中、県立高校ではキャリア教育を推進し、社会人として働くための基礎となる力を身に付けさせている。	【評価できる点】として掲載
5	江森委員 (担当所属説明より)高校に進学した発達障害の生徒について、アドバイザーやSC(全校配置)を活用して支援している。	【評価できる点】として掲載 ※高校生の心理状態にも配慮した通級指導のシステムを、平成30年4月からの導入に向けて準備している。
6	重田委員 特別支援学校高等部生徒の就労に関して、外部との連携を一層図ること。	【課題】として掲載 ※現状では「教育支援に係る協議会」を実施
7	荻原委員 発達障害の生徒が希望する進路に進めるよう、特別支援学校のノウハウを通常の高校での支援にも生かすこと。	【課題】として掲載
8	岡田委員 発達障害のある生徒の就職に当たっては、発達障害の方を雇用・活用することに対する企業の理解を深めること。	【課題】として掲載
9	岡田委員 通級指導教室や特別支援学級への入級については、生徒本人・保護者と学校の合意形成に基づいて進められているが、引き続き、生徒本人・保護者に寄り添った対応を進めること。	【課題】として掲載
10	櫻井委員 (P.9-(3)-①)キャリア教育推進のためのプログラム開発にあたって、どのような議論が交わされたか。また、「進捗」と自己評価したポイントは何か。	【確認】 ・(議論の内容) 山間部や都市部など、地域の様々な特徴が設定された複数のモデル校を想定し、5、6人のグループで協議を行った。参加者は各モデル校の職員として、地域・生徒・学校の課題や、その解決に向けたキャリア教育目標の設定など、各校の実態に合ったキャリア教育推進のためのプログラムを検討した。グループ協議後、各班から協議内容を発表し、情報共有を図った。各グループからは、地域の産業界等と連携・協力した商品開発や企業体験の実施など、各校の特色を生かしたプログラムの発表が行われ、充実した協議会となった。 ・(評価ポイント) 協議の様子や各班の検討内容から、参加した教員の意識が高まり、一定の成果が得られたと判断し、「進捗」と評価した。
a	櫻井委員 (事務局の説明から)高等学校の進路指導について、学校現場への情報提供、学校の実態に合ったプログラム開発、指導モデルを示した研修会などにより、教職員の意識を高めていること。	【評価出来る点】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策2		
委員名	意見要旨	対応
11 荻原委員	生徒が主体となったのスマートフォン利用ルール作成について、全ての公立高校・中等教育学校で実施できたこと。	【評価できる点】として掲載
12 江森委員	教員の人事評価結果を採用にフィードバックし、採用試験の筆記問題等に反映していること。	【評価できる点】として掲載 ※29年度から教員養成の指標を設定するための協議会を設置
13 江森委員	新学習指導要領に対応して、義務教育課程及び高校教育課程で、主体的・対話的で深い学びに向けた取組を実施していること。	【評価できる点】として掲載 ※「はばたく群馬の指導プラン」一部改訂、高校全校でのステップアップサポート事業実施
14 重田委員	ICT活用能力については、情報モラル等にも一層配慮して教えていくこと。	【課題】として掲載
15 江森委員	インターネットで調べるだけでなく、学習に本・図書館を活用することの指導について、更に推進すること。	【課題】として掲載
b 岡田委員	ぐんま少人数クラスプロジェクト「さくらプラン」、「わかばプラン」の少人数学級編制により、きめ細かな指導体制を整備していること。	【評価できる点】として掲載
c 江森委員	高校生ステップアップサポート事業により、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進していること。	【評価できる点】として掲載
d 荻原委員	学校現場における学習障害への理解や、指導方法の研究を促進すること。	【課題】として掲載
e 江森委員	学力向上コーディネーター、はばたく群馬の指導プラン、学校教育の指針等により、義務教育段階においても全県的に学力向上に取り組んでいること。	【評価できる点】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策3		
委員名	意見要旨	対応
16 江森委員	・平成30年度からの道徳の教科化に向け、評価と指導の質の両面から準備を進めていること。 ・道徳郷土資料集「ぐんまの道徳」の配布・活用推進により、道徳の教科化に向けて群馬県の地域特性を取り入れていること。	【評価できる点】に掲載
17 櫻井委員 江森委員	いじめについては、統計上の数字を減らすことや、外形的に早期解決することにとらわれず、様々な事例があることを踏まえた対応を図ること。	【課題】として掲載
18 荻原委員	・「いじめ」の定義にとらわれすぎず、子どもが傷ついたことに対してケアすること。	【課題】として掲載
f 江森委員	恐喝や暴力などの「やってはいけないこと」を早期にやめさせる指導については、引き続き徹底していくこと。	【課題】として掲載
g 重田委員	発達障害であることが分かりにくい児童生徒がいることを理解して対応すること。	【課題】として掲載
h 江森委員	青少年が体験活動を実施するための社会教育施設が充実していること。	【評価できる点】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策4			
	委員名	意見要旨	対応
19	重田委員	群馬県における学校のアレルギー対策は、全国的に見ても良くできている。	【評価できる点】に掲載
20	重田委員	学校におけるアナフィラキシーの発症例の約半数が初発の運動誘発アナフィラキシーや口腔アレルギーであることを踏まえた対応を充実すること。	【課題】として掲載
21	-	(事務局説明)教員の多忙化解消の観点から部活動を見直すこと。	【課題】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策5		
委員名	意見要旨	対応
22 櫻井委員	・(P.66-成果)「～と考える。」「～と思われる。」の表現は、評価には馴染まない。 ・メンタルヘルスに関する議論の内容はどうか。	【修正】 (P.65、66)取組実績及び成果について、内容及び表現を見直し
23 江森委員 櫻井委員	多忙化の解消に向け、関係者を広く集めた協議会の設置に向けて、作業部会で準備を進めたこと。	【評価出来る点】に掲載 ※第2回委員会での評価意見もこちらに含めます。
4 荻原委員	学校と連携した県子ども・若者支援協議会から、高校を中退した生徒に連絡するなど、中退後もフォローしている。 ※基本施策5へ	【評価できる点】として掲載
i 重田委員	県教委が行っている教職員のメンタルヘルスのための各取組について、市町村に波及させること。	※「労働安全衛生管理に関する県・市町村教委との連絡会議」等の場を活用して取組を促します。
j 荻原委員	小学校において、学校の日程や需要を考慮して、スクールカウンセラーを一層活用すること。	【課題】として掲載
k 荻原委員	発達障害の程度が軽い児童生徒について理解を促進すること。	【課題】として掲載
l 荻原委員	地域の特別支援学校の専門アドバイザーによる学校支援が上手く機能していること。	【評価できる点】として掲載
m 江森委員	教員の採用について、引き続き長期的な視点での対応を図ること。	【課題】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策6		
委員名	意見要旨	対応
24 櫻井委員	子どもの貧困対策について、28年度の実績が報告書に記載されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・P.79(取組31)に【関連する取組】として子どもの貧困対策について関係部局と連携して対応を図ることを記載 →【評価できる点】として掲載 ・28年度実績として、SC・SSW、就学支援金、放課後子ども教室等(「子どもの貧困対策推進計画」において、健康福祉部、こども未来部とともに総合的に推進していることについて)を記載
25 荻原委員	外国人児童のための日本語指導・適応指導のための教員加配が増え、相談できることが子どもの癒やしにもなっている。	【評価できる点】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

基本施策7		
委員名	意見要旨	対応
26	櫻井委員 社会教育現場の課題を明確にしたり、社会教育主事の専門性を維持・向上するためにどのような工夫をしているか。	【確認】 ・重点施策として取り組んでいる家庭教育支援をテーマとした研修を実施し、家庭教育支援に係るスキルの獲得とその実践を通して、社会教育の担い手としての自覚を促すとともに、専門職員として資質の向上を図っている。
27	櫻井委員 現場の社会教育主事に研修の効果を伝えるために、研修における県教育委員会と市町村教育委員会の役割の見直しについて、どのように行っているか。	【評価できる点】 ・教育事務所で実施している地区別社会教育主事等研修会には、市町村の公民館職員など、現場で住民に接する職員にも参加してもらっている。 ・研修内容については、教育事務所と市町村担当で調整し、市町村との合同実施も含め、効率的な実施に努めている。
28	江森委員 県立図書館の役割は、市町村立図書館にはない蔵書を充実させることだが、分野によってはまだ不十分な部分もあるため、更に充実を図ること。	【課題】として掲載
n	櫻井委員 家庭教育応援条例の施行を受けて、研修講座による人材育成や社会教育関係団体との連携を推進したこと。	【評価できる点】として掲載
o	櫻井委員 ぐんま県民カレッジ「オープンキャンパス」は、人口減少や高齢化が深刻化する地域を抱える群馬県の実情を考慮するとき、人材(若者)や情報の拠点となる大学等と連携した各教育事務所における出前講座の実施は特徴的な事業として評価できる。	【評価できる点】として掲載

平成29年度点検・評価委員会(第1回、第2回)における主な意見と対応について

番号の1から29は第1回の意見、aからpは第2回の意見です。

教育委員会の取組			
	委員名	意見要旨	対応
29	-	(事務局説明)28年度の新規取組として、教育委員による個別の学校訪問(視察)を実施した。	【評価できる点】として掲載
p	-	(事務局説明)教育委員会あての広聴について、毎月の定例会で教育委員に報告していること。	【評価できる点】として掲載